

はこだて高等教育機関 合同研究発表会



先輩たちと
ふれあう
チャンス

友人や家族と一緒に、
進路を考えるきっかけに
してみませんか？

2014
11|8
sat
12:00~16:00

今、函館で
学べることが
見えてくる



会場：函館市青年センター
函館市千代台町27番5号

ブースセッション 12:00~16:00
ステージセッション 13:45~16:00
表彰式・交流会 17:00~18:30

街が僕らのアカデミア

函館市内にある8つの大学・短大・高専では、学生・教員らが持つ「体験」「発想」「探求心」から生まれる様々な研究がそれぞれのキャンパスで進行中です。これらの一端を市民の皆様方・地元企業の皆様方にわかりやすくご披露し、また各研究テーマの協力・連携の可能性を探るべく一同に集結します。

当日はブースやステージでの発表などを通して、ここ函館を舞台に日々繰り広げられている研究活動に触れていただければと存じます。また中高生の皆さんにも今後の進路決定の参考に、先輩たちとのコミュニケーションの機会にさせていただきたいと思っております。

スタンプラリーなど楽しい企画も満載。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

主 催： キャンパス・コンソーシアム函館

公立はこだて未来大学／函館大谷短期大学／函館工業高等専門学校／函館大学／函館短期大学
北海道教育大学函館校／北海道大学大学院水産科学研究院・水産学部／ロシア極東連邦総合大学函館校／函館市



パネル展示や実演・解説

パネル展示を前に各種のデモンストレーションや解説などを行います。

1 未来大 チーム たけちゃんマン!!!

イベント検索サービス HakoEve (はこイブ) の開発

HakoEve (はこイブ) とは、昨年函館市地域交流まちづくりセンターと共同で開発した、函館市近郊のイベントを検索できる web サービスです。今年はこの HakoEve のデザインを一新し、サイトリニューアルをしました。ブース発表では、デモを用意しているので、ぜひ見に来て下さい。

○チーム代表：齋藤尊
○チーム員：兵藤允彦・新保遥平・小田慧慧・京谷和明・高木晃

2 未来大 チーム はこだてまちあるき隊

函館のまちあるきを支援するアプリ 「はこだて Map+」の開発

私たちは LOD という仕組みを利用して地域情報の公開と活用を促進し、地域活性化に貢献することを目的として活動しています。ブースでは、観光客のまちあるきを支援するアプリ「はこだて Map+」について発表します。iPad なども用意しているので、実際に使ってみることもできます。

○チーム代表：山田亜美
○チーム員：前田実優・加藤武文・工藤卓也・吉田匡孝・小野美都・十時英人・矢野颯太・小関大河・増田俊作・佐藤孝大・栗田学斗

3 未来大 チーム おさかな日和

北海道の地域情報を利用した 料理アプリ開発

北海道の魚介類を食べるきっかけを作る iPhone アプリ「おさかな日和」を開発しています。アプリで利用している魚介類のデータとその魚介類を使った料理レシピデータは北海道庁や北海道の振興局から許可を頂いており、アプリではそれらのデータを連係させています。

○チーム代表：長田昌浩
○チーム員：似内勇太・松田隼士・熊谷優斗・西尾洋輔

4 未来大 チーム 鳶屋でマーケティング

新しい本屋スタイルの提案

函館鳶屋書店と協力し、来店するお客様と従業員向けのアプリケーションを開発しています。アプリケーションを使うことで、今までより多くのお客様に来てもらい、お客様にゆったりとした時間を過ごしてもらおうことを目指します。イベントとコンシェルジュに着目した提案をぜひ聞きに来てください！

○チーム代表：松野竜也
○チーム員：藤原哲・山本賢人・佐藤正徳・花田洋貴・齋藤創・安藤大岳・水澤吉博・水尻裕人・内山武尊・岩田一希・佐々木拓真・宮井和輝・北町駿・小笠原佑樹・鎌倉央・萩本純一・一ノ瀬晋太・秋元丈一郎・武安裕輔・池田俊輝・泉田和佳奈

5 未来大 チーム 新しい本屋スタイル創造プロジェクト

スマホ / タブレットから始まる 新しい本屋スタイル

本プロジェクトは函館鳶屋書店と連携して活動しています。現在、鳶屋書店で利用する子ども向けや従業員向けシステムを開発しています。提案に向けて行った調査やアイデア出しなど開発に行き着くまでにたくさんの体験があるので、ぜひ来て下さい。タブレット端末でシステムを使うこともできますよ。

○チーム代表：長内一真
○チーム員：一ノ瀬晋太・向山結女・南京兵・宮井和輝・佐々木光一・萩本純一・矢久保七瀬・吉川和希・森貴洋・幸地秀太・藤原修平

6 未来大 チーム 教育の特効薬

タブレットでプログラミング

私達は小学生を対象にプログラミングを楽しく学べるタブレットアプリの開発とワークショップを企画しています。本アプリではロボットの動きを遠隔操作やプログラミングすることができます。ワークショップでは遠隔操作で行った動きをプログラミングしてもらおうと企画しています。

○チーム代表：伊藤駿吾
○チーム員：雲井尚人・小島和司・諸原聖

7 未来大 チーム 特効薬プロジェクト業務班

業務システムに革命をもたらす ゲーミフィケーション

ゲーミフィケーションという言葉をご存知ですか？ゲーミフィケーションとは、ゲームデザインの技術やメカニズムを他分野に利用する考え方のことで、モチベーションの向上をもたらすと言われています。私たちはこのゲーミフィケーションを業務システムに適用することで、業務効率化を実現します。

○チーム代表：神篤志
○チーム員：小田将太・瀬川貴雅・西浦康太

8 未来大 チーム ヘルスツーリズム

既存資源を活用した 新たな視点の地域観光スタイル開発

本チームでは健康維持や健康促進を図る観光スタイル「ヘルスツーリズム」を支援するアプリの開発を行っています。函館の景観を楽しみながら歩くことで、ヘルスケアも行えるアプリがコンセプトです。本アプリでは、函館の 47 のウォーキングコースを紹介します。

○チーム代表：河辺雅史
○チーム員：佐々木拓真・辻浦崇大・仲松聡

9 未来大 チーム ミライケータイプロジェクト

ミライ的スマートフォンアプリの制作

ミライケータイプロジェクトでは、学生の考えた、二つのスマホアプリを開発しています。一つは日本のアニメに興味を持つ外国人を日本へ誘致し、観光を支援するツアーマッチングアプリ、二つ目は周囲の環境や歩くテンポと一致した音楽を再生する新しい音楽アプリです。実機デモもご用意しております。

○チーム代表：紺井和人
○チーム員：小笠原祐樹・村上孝・澤田隼・藤原由美恵・木津智博・中司智朱希・坂本豊教・鍋田志木・岩田一希・三栖惇・金澤しほり

10 未来大 チーム IVERG

仮想空間を使った ロボットコミュニケーションのデザイン

私たちのブースでは、遠隔でレゴブリックパイロロボットを制御することと、バーチャルコミュニケーションを体験することができます。私たちの研究室では、ロボットと仮想空間を用いた学習者のためのタスクデザインについて研究しています。

○チーム代表：後藤裕太
○チーム員：伊林謙田

11 未来大 チーム 高度 ICT 演習海洋系プロジェクト

ICT で創る新しい海のカタチ

高度 ICT 演習海洋系プロジェクトは、主に 2 つのテーマで活動を行っています。1 つ目は消費者が漁業者や海産物を身近に感じられるように、新たなつながりをデザインする活動を行っています。2 つ目は大阪湾での船舶の安全な航行を支援することで、海難事故の減少を目指した活動を行っています。

○チーム代表：雲井尚人
○チーム員：中進吾・長谷川麻美・生駒敬一・木下誠子・芹沢雪花・伊藤大輔

12 函館大 チーム がごめスイーツプロジェクト

がごめ昆布を利用したスイーツ開発

がごめスイーツプロジェクトは函館の特産品であるがごめ昆布に着目し、みんなが手軽に食べてもらえるスイーツ作りに挑戦しました。ブースではスイーツができるまでの経緯、がごめ昆布の経済効果、また、ゼリーの試食などを行っています。がごめ昆布を楽しく、おいしく、函館から全国へ広めていきましょう。

○チーム代表：鮎谷美咲
○チーム員：石井優慈・金澤裕美・田上啓太

13

函館大

チーム
エコテナプロジェクト

中古貨物コンテナを活用した店舗開発

私たちは中古貨物コンテナを使い、少ない初期投資で小規模店舗を開業できるビジネスモデルを構築しています。GW には無料休憩所、観光案内所をやり、湯川の花火大会ではお祭り屋台を出店しました。この経験談をおもしろおかしくお話しします。

○チーム代表：新明巧
○チーム員：山田潤・照井和樹・長崎巧夢・成田大希・丹野敬徳・月野和史

14

函館大

チーム
HBR(はこだてビジネスレビュー)

津軽弁は何故、函館で通じたり、通じなかったりするの？ ～函館弁から探る地域間交流史～

「近いのに結構違う」…海峡を挟んで近い青函だが、様々な地域からの移住や交流の歴史の中で形成された函館弁には、津軽弁以外にも様々な地域の言葉が入っている。では、どの言葉が入っており、そこにどのような地域間交流の歴史があるのか？方言を入口に歴史を辿ることを試みた。

○チーム代表：酒井光
○チーム員：今孝朗・佐々木優・澤田遼太・柴野翔太郎・菅又めぐみ・鈴木恵理・竹内裕紀・玉澤知樹・萩野佑真・細坪信人・和多田恵也

15

函館大

チーム
あさいっちゃんを応援するの会

アンケートに基づく朝市独自商品の開発

今年の5月に函館朝市に来ている観光客に対して朝市での購入品などを調査し、そのアンケート調査の結果を基に朝市独自商品の提案をしました。9月上旬に行われたグルメサーカスで2種類の商品を販売し、商品についてのアンケート調査を行いました。この商品がいつか店頭に並ぶ事を願っています。

○チーム代表：松谷友梨亜
○チーム員：亀本佑也・熊谷祐哉・佐々木龍也・林魁人・疋田健太・平川賢也・星川有助・宮万里子・矢口太基・山下悠真・与坂隼輔

16

函館大

チーム
野外☆劇

野外劇来場者に対するアンケート調査

五稜郭で7月から8月にかけて行われた函館野外劇の来場者に対してアンケート調査を行いました。今年の野外劇では、函館商業高校との連携でコラボ商品として、海鮮たい焼きとキャラメルポップコーンを販売しました。ぜひ見に来て下さい！

○チーム代表：宮万里子
○チーム員：亀本佑也・平川賢也・熊谷祐也・星川有助・佐々木龍也・松谷友梨亜・林魁人・矢口太基・疋田健太・山下悠真・与坂隼輔

17

北教大

チーム
表・福田ゼミ

<DO+ 目的語> 構文における DO の表すもの

英語には、行為の代用表現として <DO+ 目的語> という構文があります。例えば、do one's teeth 「歯をする」など。私たちはこの構文の中でも <DO+ 身体部位> という表現に焦点を当て、どのようにしてその意味が決まるのか、ということデータを集めて分析します。

○チーム代表：峠 光
○チーム員：則房優希

18

北教大

チーム
裏・福田ゼミ

「3種類の英語変種の文体比較」

日本人にとって英語はとても難しい言語の一つです。私たちは、「日本人の英語」「母語話者の英語」、そして「非母語話者向けの英語 (Globish,VOA special English)」という3種類の英語変種で書かれた文章テキストを集め、コンピュータを用いた比較と分析を通して、どのような文体上の違いがあるかを探っていきます。

○チーム代表：木村圭祐
○チーム員：竹内一謙

19

北教大

チーム
常夏ボーイズ

スミにもおけねえिकासミ

私たちの研究室では年間約1万トン廃棄されるイカ墨を有効活用する試みをしています。その研究の一部が“イカ墨を見る”です。見るといっても肉眼では見えないほどのイカ墨一粒を見るのです。ところで、なぜイカ墨が隅にも置けないか。興味がある、また、イカ墨を見たいという人は是非こちらまで。

○チーム代表：石田周利
○チーム員：浅山彰彦・小笠原恒・鈴木拓

20

北教大

チーム
日教ゼミ

「HUE チューター支援プロジェクトと卒業論文研究内容の紹介」

こんにちは。私たちは北海道教育大学日本語教育ゼミナールです。今回は卒業研究においてチャットという媒体がコミュニケーションをいかに変化させるかに注目した発表を一つ。また、「チューター支援プロジェクト」では、前回から続くこのプロジェクトをさらに発展させています。ぜひお越しください。

○チーム代表：齋藤潤樹
○チーム員：佐藤美和・袖城葉月・太田千晴・藤谷友里・須藤希里子

21

北教大

チーム
チマチョゴーレ

일기일회 (イルギイルフェ)

私たちはこの夏、授業の一環として韓国に12日間滞在し、様々な機関を訪問しました。その12日間は長くもあり短くもあり私たちにとても刺激的でした。韓国で私たちが見たもの、感じたもののありのままを伝えたいと思います。

○チーム代表：松本健太
○チーム員：佐久間志歩・吉田千織・小橋美咲・高橋結衣・小又美穂・清水大椰・西原果歩・田中有紗・三浦愛美・鳥潟蘭・花輪一哉

22

北大水

チーム
チーム凝集

環境に優しい濁水浄化

私たちの生活に安心で安全な水は必要不可欠です。水の浄化には凝集剤を用います。そこで私たちが開発した大豆から作った環境に優しい凝集剤を使って、工事現場で発生する泥水や、夏に大沼で大量発生するアオコの浄化実験を体験できます。

○チーム代表：田村俊介
○チーム員：澤田佳奈

23

北大水

チーム
チームコンプ

安心安全な昆布を提供するために

私たちはコンブからヨウ素を除去し、より安心安全なコンプを作る事を目標に研究を行っています。昨年、新聞に掲載された実績ある研究です。どうしてヨウ素の除去が必要なのか、どんな方法でヨウ素を除去しているのか等、興味のある方はぜひ私たちのブースに来てください。お待ちしております。

○チーム代表：木下洋輔
○チーム員：仲田裕樹

24

北大水

チーム
チーム泡沫(ほうまつ)

アワで水をきれいにする 「泡沫分離」の研究

私たちは泡沫分離法という技術を使って水をきれいにする方法を研究しています。水をきれいにするために使うのは「泡」。操作は非常に簡単で、ランニングコストも低く抑えることが出来ます。きっと皆さまもその簡単さに驚かれるでしょう！会場でお待ちしています!!

○チーム代表：松原僚
○チーム員：青木あかり

25

北大水

チーム
脱!!カドミウム

有害なカドミウムを取り除け!! ～廃棄物から作る魚のエサ～

イカやホタテ貝は刺身や加工品に利用される一方で、イカ内臓、ホタテ貝中腸腺は有害なカドミウムを含むため廃棄されます。それらが豊富なタンパク質、脂質を含んでいるにも関わらず、です。これら廃棄物からカドミウムを除去し、栄養豊富な養殖飼料とする、その夢を目指す私達の研究を紹介いたします。

○チーム代表：小倉陽祐

26

北大水

チーム
函館マリンファクトリー

捨てるなんてもったいない! ～ホタテとダルスの健康機能～

私たちは、現在利用されず捨てられているホタテのミミ(外套膜)と函館沿岸に分布する紅藻ダルスから様々な健康機能性を発見しました。そこで、おいしく食べられ健康になる食材としての提案と、将来私たちの生活でどのように利用できるかということについて紹介します。

○チーム代表：勝倉哲
○チーム員：熊谷侑貴・吉野真緒

27

北大水

チーム
クオラムセンシング

微生物がコミュニケーション!!

あらゆる所に生息する微生物。彼らも私たちと同じようにコミュニケーションをとっています。一つ一つが非力な微生物はフェロモンの様な物質を利用し、お互い協調しあって活動しています。クオラムセンシングと呼ばれるこの現象に関わる化合物の正体を明らかにする研究をしています。

○チーム代表：伊藤秀輝
○チーム員：伊藤和愛・後藤祐輔

28

北大大

チーム
殺藻物質

赤潮を毒で制する

植物プランクトンの異常増殖によって起こる赤潮。その赤潮プランクトンにたいして働く殺藻細菌がいることを知っていますか？殺藻細菌には物質をだして赤潮を退治しているものがあります。それはどのような物質なのか、また海の中でどのように機能しているのか、「化合物」に注目して研究しています。

○チーム代表：梅津早希
○チーム員：西川堯之・及川このみ・松村賢

29

北大大

チーム
北海道大学鯨類研究会

津軽海峡の鯨類と 10 年間の目視調査

私たちは、10 年以上続く目視調査を通して津軽海峡にはどのような鯨類がどのような時期に来遊して、どのような傾向があるのか、などといったことを主に研究しています。函館は、実は鯨類に身近な街です。興味のある方は、ぜひお越しください。

○チーム代表：伊藤慧
○チーム員：松井菜月・立松俊和・多賀裕秋・中嶋実・呉登科・牛崎主輔・山中智樹・神保美渚

30

大谷短

チーム
教育情報サークル

連絡帳の SNS のユーザビリティ比較
～未来の保育者を対象にして～

幼稚園や保育所では、保育者と保護者との大切な情報交換ツールとして連絡帳が使われている。一方、現代では ICT が普及している。そのため近い将来、連絡帳に ICT が活用される可能性も考えられる。そこで私たちは、未来の保育者を対象に実験を行い、連絡帳と SNS のユーザビリティを比較した。

○チーム代表：愛場聡
○チーム員：田中桃子・平原美南・三河鎮也・田中麻衣子・堀田恵子・平野あすか

31

大谷短

チーム
伊藤研究室

アクセシビリティの比較・調査
～障がい学生増加にむけて～

近年、大学・短期大学および高等専門学校など、高等教育機関に在籍する障がい学生数が増加する傾向にあるなかで、進学希望者への情報発信は十分に行われているのか、疑問である。函館の高等教育機関のウェブアクセシビリティの現状を調査し、その比較を通じて取り組むべき課題について明らかにする。

○チーム代表：吉村大地
○チーム員：太田知佳・山本麻以・中嶋綾・小甲裕也・齋藤瑞季・加藤佳奈・春藤美沙希・髭綾夏・松村愛

32

函短大

チーム
チーム もぐもぐ・くじら汁

道南郷土料理「くじら汁」の官能評価

道南郷土料理のひとつである、「くじら汁」とはどのような食べ物かを知っていますか？今までに「くじら」を食べたことがありますか？私たちは異なる年代の協力者に調理してもらった「くじら汁」の官能評価を実施しましたので、その結果を報告します。本物の「くじら汁」を試食できるかも…。

○チーム代表：朝妻祐美
○チーム員：石崎華奈子・長内優実・小田島静花・東優

33

函短大

チーム
チーム J

理想の育児方法は、立場によって異なる !!

私たちは保育学科に所属し、保育や子育て、育児方法等について学んでいます。しかし、保育者や親という立場によって、適切な育児の仕方は異なるかもしれません。そこで、この点について、保育学科学生を対象にアンケート調査を実施しました。会場では、皆さんの理想の育児方法もお聞かせください。

○チーム代表：道畑幸奈
○チーム員：吉田祥羅

34

函短大

チーム
昭和生まれの女子短大生

母乳はスゴイッ！！

お母さんの食べた食品は、母乳の成分に影響を及ぼすのでしょうか。食物アレルギーのある乳児がそのアレルギー食品を食べたお母さんの母乳を飲むとアレルギー反応は出るのでしょうか。質の良い母乳を出す食品、逆に質を悪くする食品は何でしょう。答えと、短大生がどのくらい知っているのかは、会場で！

○チーム代表：安田雅子

35

函高専

チーム
函館高専中村研

火山礫搬送システムの開発

農業を行うのに水はけの良い田面を作るため、田面に溝を掘り、そこに火山礫を充填する工事が行われている。しかし、工事にはキャリアダンプなどの大型重機を用いるため、田面が荒れてしまうという問題がある。その問題を改善するため、圧縮空気をを用いた新たな火山礫搬送システムを開発する。

○チーム代表：入井翔太郎

36

函高専

チーム
函館高専生産システム山田かずまき研究室

函館高専電気電子工学科の
創造実験科目（2 年次）の事例展示

物づくり科目（2 年次）の事例をブースで展示します。今回は学科内選考を経た中で、最も優秀であったロボットの 1 つ、景品キャッチャーロボを展示します。このロボットを約 10 週間で完成させるまでの電気電子工学科の授業の流れをポスターで説明します。ロボットは当日操作が可能です。（予定）

○チーム代表：佐藤敬太
○チーム員：佐藤光貴・久保有平・小川祥汰

37

函高専

チーム
函館高専ゲームプログラミング研究会

自作 P C ゲーム展示

僕達が公の場で公開しているゲームです。「斬新ながらわかりやすいシステム」を目指して製作したゲームです。ゲームだけではなく、グラフィックや音楽なども統一性を考えてデザインしました。遊びだせばハマること請け合いです。是非遊んでみて下さい。

○チーム代表：古川浩気
○チーム員：竹内将洋・細川航汰

38

函高専

チーム
地酒だけじゃない菜の花

菜の花酵母でパン作り

函館高専は、菜の花酵母を用いた地酒を開発し販売しています。しかし、これは未成年にはありがたくありません。そこで、その恩恵を未成年にも受けられるように、との思いを込めて、菜の花酵母でパン作りにチャレンジしました。

○チーム代表：藤山聖梨
○チーム員：堀川智帆・松田直貴

39

函高専

チーム
ザ・リサイクル

捨てるものが使える資源になる

私たちは北海道の水産業界で問題となっているホタテの廃棄物からバイオの手法を利用して、旨み味のエキスの開発を行っています。また、同じく廃棄物となっているトウモロコシの芯から未来のエネルギー源でもあるバイオエタノールの生産も行っています。これらの研究成果をご紹介します。

○チーム代表：佐藤樹梨花
○チーム員：田井中玲奈・高橋桃子

40

函高専

チーム
高専環都道路交通

風について知る
- 安全な道路交通のために

激甚な自然災害が多発する現在、これらの災害は決して他人事ではなく、自分のこととして想像力を使い、リスクを認識して備えることは、日本に住む者にとって必須のことです。そこで日常生活に重要な道路交通の安全な運行面から気象、特に風についてよく知りたいと思います。

○チーム代表：岡崎亮太

41

函高専

チーム
Y.O.H（ワイ・ツー・オー・エイチ）

大森浜の砂の観察

理科年表の「日本のおもな火山」の 62 番目は「銭亀沢火山」です。火口は汐泊川の沖合約 2Km のところにあり、およそ 3 万年前に、周辺に大量の火山灰を撒き散らしたことがわかっています。今日は、その火山灰が含まれた砂を双眼顕微鏡で観察します。偏光によって色づく様子も見てみましょう。

○チーム代表：山崎恭弥
○チーム員：橋本優里・横田龍太郎・大澤亜佑美

42

極東大

チーム
翻訳サークル「訳者小屋」

ロシアの歴史を知ろう！

みなさんは、ロシアの歴史についてどの程度ご存知ですか？ロシアのことをよく知らない方々にもわかりやすく紹介します。子どもから大人まで楽しめる「ロシアの歴史クイズ」も行います。景品も用意しますので、ぜひブースに来てクイズに挑戦してください。

○チーム代表：小泉文哉
○チーム員：國立翔・渋谷えり・福島佳苗・小谷亜郁・長瀬光輝・大平桃子・柴田侑樹・高橋由・梅田菜月・山本実里奈・岡安優弥・酒井星弥・三好拓・吉田翔太・松原俊子

43 共同研究 未来大・函館大・北教大 合同チーム
大学生の実態調査グループ

**あなたの知らない
函館の大学生の生活実態**

大学生ってどこに行っているのかな、どこでアルバイトをしているのかな。あなたは知っていますか。3 大学（函館大学、教育大学、未来大学）の学生の平日と休日の生活状況、収入状況、日常での交通手段などを調査しました。今後の函館のまちづくりに役立てることを目的としています。

○チーム代表：力石真嘉
○チーム員：宇越千駿・奥崎有汰・岩谷裕樹

44 特別参加 学園都市ひろさき高等教育機関
コンソーシアム いしてまい

「いしてまい」な学生生活を送ろう！

私達は青森県弘前市で学生があずましく（心地よく）過ごせるように街づくりをしている団体です。今年は昨年に引き続き、学生目線でオススメの店をまとめたつながるマップを作成したりひろさきの文化に触れるためにねぶたに参加しました！「いしてまい」ってなに？わんどのブースにくればわかるはんで～！

○チーム代表：丸岡桃子
○チーム員：種市麻衣・岡本緩南・嶋田侑莉・三上拓人・田中和菜・折井史仁

45 特別参加 青森公立大学
まちなかしかへらあ～s

**青森より参上！まちなかしかへらあ～s
のとりのくみについて**

青森市の中心市街地活性化を目的とした青森公立大学の学生団体です。中心商店街の清掃活動やねぶた祭り期間中の観光案内、商店街のイベント手伝いなどを通して若い力で商店街を盛り上げようと頑張っています。また商店街にあるオススメの飲食店の情報をブログ等で発信する活動も始めました。

○チーム代表：成田遼太郎

46 特別参加 函館大学付属柏稜高等学校
理科研究部

Hakuryo method における可能性の検討

本研究部は、TLC と Image を用いたオリジナルビタミン B2 定量法「Hakuryo method」を確立させることに成功しました。本研究ではさらなる可能性を探るため、オリジナル定量装置の測定範囲を明らかにし、標準添加法を用いた市販飲料の含有量測定を試みました。

○チーム代表：木戸博哉
○チーム員：齋藤稔之・大江拓人・星澤翼

47 特別参加 遺愛女子高等学校
地学部

大森浜の海岸浸食と砂の堆積

私たちのクラブでは 2006 年から大森浜で地形と砂の変化を調べてきました。市民の憩いの場でもある浜は潮位が上がると波に削られて、消滅してしまうことがあります。身近な浜で起きている自然の大きな変化と、砂浜消滅の危機についてお知らせします。

○チーム代表：谷本佳弥
○チーム員：岡田結衣・花田愛海

48 特別参加 函館白百合学園高等学校
理科部

アサガオの花芽形成に関する研究

函館白百合学園理科部では、20 年ほど前から、植物に関するいろいろな研究を行っています。現在、高校 3 年生が引退し、中学と高校合わせて、8 名の部員で活動しています。今回ボスター初参加ですが、先輩方のデータも含めた研究成果を発表しますので、ぜひ見に来て下さい。

○チーム代表：西村舞
○チーム員：中宿朱里

49 特別参加 函館西高等学校
理科部

函館山におけるトビムシ相の調査

函館山のトビムシ相の調査は 6 年目となった。トビムシ相の変化が環境にどのように関係しているのかを継続的に研究している。これまで、「降水量とトビムシ個体数変化の関係」や「北海道で未記録のトビムシ」を発見するなどの成果を上げた。今年は、樹皮上のトビムシ相の変化を中心に研究を行っている。

○チーム代表：佐藤昌輝
○チーム員：谷藤蓮樹・中谷竜宇・岩城一真・岩井健悟・一戸涼史



**スタンプラリーも
お楽しみください！
（記念品進呈）**



HAKODATE アカデミックリンクとは？

函館市内 8 高等教育機関の学生が一堂に会し、普段研究している内容や成果などをポスター展示や実演などによって発表し合う合同研究発表会です。会場では、学生とのコミュニケーションも楽しめます。最先端の研究や地域課題へのアプローチなど、函館の学生たちの取り組みをぜひ見にきてください。

アカデミックリンクの開催にあたり各企業の皆様からのご協賛を賜りました。ありがとうございました。
函館山ロープウェイ（株）FM いるか・（株）東和電機製作所・（株）ニューメディア函館センター
（株）コジマ店装（敬称略・順不同）



ステージセッション 参加チーム

ステージでの発表

15 分間の持ち時間で繰り上げられる
ステージ上でのプレゼンテーションです。

1 未来大 チーム たけちゃんマン!!!

イベント検索サービス HakoEve (はこイブ) の開発

HakoEve (はこイブ) とは、昨年函館市地域交流まちづくりセンターと共同で開発した、函館市近郊のイベントを検索できる web サービスです。今年はこの HakoEve のデザインを一新し、サイトリニューアルをしました。ブース発表も、行っているの、そちらもぜひ見に来て下さい。

- チーム代表：齋藤尊
- チーム員：兵藤允彦・新保遥平・小田島慧・京谷和明・高木晃

2 函館大 チーム あさいっちゃんを応援するの会

アンケートに基づく朝市独自商品の開発

今年の 5 月に函館朝市に来ている観光客に対して朝市での購入品などを調査し、そのアンケート調査の結果を基に朝市独自商品の提案をしました。9 月上旬に行われたグルメサーカスで 2 種類の商品を販売し、商品についてのアンケート調査を行いました。この商品がいつか店頭に並ぶ事を願っています。

- チーム代表：松谷友梨亜
- チーム員：亀本佑也・熊谷祐哉・佐々木龍也・林魁人・疋田健太・平川賢也・星川有祐・宮万里子・矢口太基・山下悠真・与坂準輔

3 北教大 チーム 木村ゼミ

学校における メディア・リテラシー教育について

現在子ども達がメディアと関わる機会が以前にも増してきました。その為、学校においてもメディア・リテラシー教育をより一層充実させる必要があります。そこで、現在学校で行われているメディアリテラシー教育に着目し、今後のよりよいメディア・リテラシー教育について考えていきます。

- チーム代表：大嶋周
- チーム員：高橋初菜・岡本大知・辰口葉名子・柴田真優・熊谷亜果・本間いずみ・安田桃佳・亀井将伍・貝沼由香

4 北大水 チーム 黒光りつぶつぶ団

北海道における 超効率的なチョウザメ養殖を実現する

私たちの研究室では、卵巣がキャビアとして高い経済価値を持つことで知られるチョウザメを対象魚として日々研究を行っています。将来的には、北海道における超革新的および超効率的なチョウザメ養殖を実現することが我々の目標です。「え？そんなことできるの？」と思った方、発表にご期待ください！

- チーム代表：石野魁盛
- チーム員：松原薫子・高柳曜

5 大谷短 チーム 伊藤研究室

アクセシビリティの比較・調査 ～障がい学生増加にむけて～

近年、大学・短期大学および高等専門学校など、高等教育機関に在籍する障がい学生数が増加する傾向にあるなかで、進学希望者への情報発信は十分に行われているのか、疑問である。函館の高等教育機関のウェブアクセシビリティの現状を調査し、その比較を通じて取り組むべき課題について明らかにする。

- チーム代表：吉村大地
- チーム員：太田知佳・山本麻以・中嶋綾・小甲裕也・齋藤瑞季・加藤佳奈・春藤美沙希

6 函短大 チーム 昭和生まれの女子短大生

母乳はスゴイッツ！！

お母さんの食べた食品は、母乳の成分に影響を及ぼすのでしょうか。食物アレルギーのある乳児がそのアレルギー食品を食べたお母さんの母乳を飲むとアレルギー反応は出るのでしょうか。質の良い母乳を出す食品、逆に質を悪くする食品は何でしょう。答えと、短大生がどのくらい知っているのかは、会場で！

- チーム代表：安田雅子

7 函高専 チーム Actor@函館高専

科学演劇のこれまでとこれから

函館高専演劇愛好会が 2013 年より行っている独自活動、科学演劇。演劇を通して、科学への興味や知識を深めてもらうことを目標とした活動です。今回は科学演劇の内容や、活動報告などをお話します。先輩たちと活動を始めてまだ日も浅いですが、頑張って発表します。

- チーム代表：田中優海
- チーム員：檜山凜子・井上海斗

8 極東大 チーム 翻訳サークル「訳者小屋」

ロシアアニメ「アカイロ」の吹き替え

短編アニメ「アカイロ」は、日本の民話を基にして 1980 年にソ連で制作された人形アニメです。当時のソ連の人々が、日本そして日本人に対してどのようなイメージを抱いていたのか理解できます。翻訳サークル「訳者小屋」がアニメを和訳し、画像に合わせてライブ吹き替えします。

- チーム代表：奥山茜
- チーム員：權田和希・金子智昭・浅川真人・河瀬愛子

9 共同研究 未来大・函館大・北教大 合同チーム 大学生の実態調査グループ

お母さんに言えない “函館の大学生の生活実態”

3 大学（函館大学・教育大学・未来大学）の学生の平日と休日の生活状況、いつ起床するのか、いつ食事を取るのか、いつ就寝するのかなど大学生の生活実態を調査しました。お母さんごめんなさい。実はこんな生活をしていました。でも、学校にはちゃんと行っているからね。

- チーム代表：石石真嘉
- チーム員：宇越千駿・奥崎有汰・岩谷裕樹

スタンプラリー
実施中

ブースを訪ねてスタンプを集めよう！
5つ以上のスタンプで記念品進呈

多彩な研究テーマが揃った 49 の展示ブース。興味のあることやわからないことがあったら、どんどん質問をぶつけてみましょう。展示を見て、興味深かった、面白かったと思うブースがあったら、下欄にスタンプを押してもらってください。5つ以上のブースを回りスタンプを集めたら、受付で記念品を差し上げます。

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 ~